

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	市民基盤の政策形成の仕組みづくり：市民自治に向けて				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	津富 宏
	研究分担者	所属・職名	沼津市民シンクタンク・オーガナイザー	氏名	小和田 尚子
		所属・職名	沼津市民シンクタンク・コアメンバー 裾野市民活動センター・センター長	氏名	深野 裕士
		所属・職名	沼津市民シンクタンク・コアメンバー	氏名	渡井 篤紀
		所属・職名	沼津市民シンクタンク・コアメンバー	氏名	太田 眞奈
		所属・職名	沼津市民シンクタンク・コアメンバー	氏名	勸山 法紹
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	津富 宏

講演題目	市民基盤の政策形成の仕組みづくり：市民自治に向けて
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>目的</p> <p>我が国においては、市民が直接、政策形成に関与する機会はほとんどない。政策形成の過程は、行政が政策の原案を策定し、それを議会が修正・承認するというものであり、その過程で、行政が調査を行ったり、パブリックコメントとして市民の声を取り入れたりすることはあっても、市民が政策形成のプロセスに関与することは難しい。市民の側も、議員や行政の担当部署に対して、散発的に要望を伝えることはあっても、本格的な政策提案を行っているとは言い難い。</p> <p>そこで、本研究では、静岡県議会議員を中心に組み込まれている「政策形成プロジェクト」と、沼津市の市民有志によって組み込まれている「沼津市民シンクタンク」に着目し、これらの取り組みにおいて、市民がどのように政策形成に取り組みうるかを記述し、そのコツを横展開可能な形で提供することを目的とする。</p> <p>成果</p> <p>上記、二つの取り組みについて、その概要と、運用の方法、また、それぞれの取り組みにおける具体的な展開をわかりやすく記述する冊子の作成に取り組んだ。当初は、その冊子を印刷予定であったが、3月26日段階では草稿段階であり、令和4年度中に原稿を完成させる予定である。</p> <p>今後の展望</p> <p>上記、二つの取り組みは、今後も継続する予定であり、とりわけ、「沼津市民シンクタンク」は、令和5年4月に行われる、静岡県議会議員選挙、沼津市議会議員選挙に向けた「市民マニフェスト」の作成に取り組んでいるので、この動きについても、さらに共有可能な形で広めていきたい。</p>